

7/14 正午までに委員からいただきました質問及び市の回答を取りまとめています。
 会議終了後、【参考資料③】三郷市まちづくり委員会 会議意見・提言シートに合流させます。

当日追加資料

第3回会議事前質問シート

1 協議事項 (1) 第5次三郷市総合計画後期基本計画案【まちづくり方針 1～3】について

(1) 【資料1】前期→後期のポイントまとめに関すること

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料1 3ページ	2 三郷市を取り巻く状況の変化等に伴う変更 (8) 【施策1-2-2】放置自転車の状況について	駐輪場の空きが多い場合、駐輪場自体を減らしていくことで敷地の有効活用を検討できるのではないか。 利用率について示してほしい。	自転車駐輪場は市内3駅9箇所ありますが、それぞれで利用率は異なります。各駐輪場の利用状況等を確認し、敷地の有効活用の可能性について検討してまいります。 令和6年度における各駅の利用率は次のとおりです。 ・三郷駅周辺（4箇所） 43.7% ・新三郷駅周辺（2箇所） 57.2% ・三郷中央駅周辺（3箇所） 79.1%
	2 三郷市を取り巻く状況の変化等に伴う変更 (10) 【施策2-2-2】青少年団体の活動状況について	アウトプット指標であるとともに事業参加者のカウントのみとなっており、複数回参加などが検討されていないのではないかと。そもそも青少年リーダーの定義が曖昧。「なんのための青少年リーダーなのか」がわからないままでは、青少年リーダーを育てる意味が見いだせない。「自然体験活動」も市の事業の参加者をカウントするだけでなく、事業として行われているものをしっかり調査する必要があるのではないかと。	青少年リーダーの定義につきましては、地域の子ども会活動の支援を主に行う中学生・高校生のジュニアリーダーと18歳から39歳までの青少年が埼玉県より委嘱を受けた青少年相談員を示しております。また、コロナ禍においては、青少年リーダー養成に関する事業につきましては、感染リスクを考慮し、事業中止や大人数が長時間集まるような複数回の講習会形式の事業実施ではなく、単回での事業実施に切り替え実施しておりました。 その影響を受けて、ジュニアリーダーや青少年相談員の青少年リーダーにつきましては、減員しておりましたが、一昨年度の5類移行を受け、複数回の講習形式の事業実施を再開し、令和7年度には、中学生・高校生を対象とした青少年リーダー養成事業を実施しております。 つきましては、委員からのご指摘につきましては、11月開催の第6回まちづくり委員会までに検討を進めてまいります。
	3 事業や取組みの進捗に伴う変更 (1) 【施策1-1-1】強靱な防災基盤の構築について	(仮称) 南部地域拠点防災コミュニティ施設を建築中であるならば、その概要をもう少し詳細に示すべきだと思われるがいかかがか。そもそもこの5年でこのような急激な展開になったのはどのような「計画」によるものか。	施設の内容につきましては、1階には防災VR体験ルーム、減災学習ルーム、防災コミュニケーションテーブルなど、最新技術を使って防災体験ができる機能と、会議室やホール、防災ラウンジなどコミュニティ機能を備えた施設として整備中となっています。平時は地域の方々が交流を図ることができる場、防災について学べることができる場として活用し、災害時には避難所としての機能を兼ね備えた施設としての整備を目指しております。総合計画への概要の示し方ですが、施設の詳細な内容ではなく施策の実現に向けた施設整備の取組みのポイントについて、わかりやすく示したところです。 施設の整備につきましては、令和2年の2月に策定された「三郷市南部地域拠点整備基本計画」に基づき実施しております。この計画では今後想定される首都直下地震や、昨今激甚化する風水害等に対応するため、南部地区の防災機能の強化や市民の防災意識の向上にむけて、ハード・ソフト一体の取組みを推進することとし、併せて、災害時における地域の自助・共助の醸成を図るため、地域コミュニティの強化や、南部の地区防災拠点との災害時の連携を図ることを目的としております。
資料1 5ページ	4 その他（軽微な文言修正等） (1) 想定される巨大地震の変更について	南海トラフ巨大地震は想定外とするのか。	南海トラフ地震を想定外とするものではなく、想定する地震の代表として、三郷市地域防災計画において、本市に最も被害をもたらす地震として東京湾北部地震と次に茨城県南部地震を想定しており、総合計画に記載する想定地震の代表としてこの二つの地震へと記載を変更したものといたします。 なお、参考資料③序論のP21の「三郷市に求められているもの」における「災害に対する備え」の項目においても、前期基本計画の内容から「東京湾北部地震や茨城県南部地震」に変更しております。

第3回会議事前質問シート

(2)【資料2】第5次三郷市総合計画後期基本計画 施策内容（案）に関すること

①全体に関すること

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 10ページ	現状	「自体はやや減少傾向にあるものの」から「増加傾向にあり」と記載方法が変わる。 これは「修正前」「修正後」の両者が記載されて初めて、理解できるものとなる。前期と後期の変更に関しては、「前期では〇〇であったが、後期では〇〇である」などの説明を加えないと、理解できない。	計画冊子としては、基本的には現時点での現状・課題を捉えて、後期基本計画期間5年間で実施する取組みのみを記載してまいりたいと考えております。 前期と後期の変更に関しては、まちづくり委員会でご審議いただく上で、資料1を用いて三郷市を取り巻く状況の変化や事業の進捗等を説明してまいります。

②施策1-1-2 風水害対策の強化

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 7ページ	施策実現のための取組み 「排水機場ポンプ増強及び治水対策の検討と整備」	令和6年大雨の際、排水機場の不具合に関してニュースになり、市民の注目を集めているので詳細を記載する必要があると思われる。 ここでの記載変更は、この取組みの対象となる排水機場が変わったことによるものであると読めるが、結局「上」「下」の変更になってしまう。下流排水機場に関する取組みが終わったことを記載しておくなど、両者を明示した記載方法としたほうがわかりやすいのではないかと。	三郷排水機場で不具合が発生致しましたが、国の施設であることから、詳細についての記載は考えてございません。 しかしながら、三郷排水機場は建設から約45年経過しており、市管理の排水機場においても、同様に建設から長い年月が経過しているため、今後、計画的な老朽化対策等が必要と考えております。 そのため、今回新たに、「課題」と「施策実現のための取組み」の中に、排水機場の老朽化対策を記載しております。 大場川下流排水機場の取組み完了に関する内容、及び、今後新たに取組んでいく大場川上流排水機場のポンプ増強に関する内容につきましては、ご提言のとおり、両方とも治水対策の大きな柱となるものでございますので、今後、現状や課題等において、取組みを実施した効果等の記載を検討し、第6回会議において修正案をお諮りしたいと考えております。

③施策1-2-2 交通安全対策の推進

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 12ページ	現状・課題	「7歳」を裏付けるデータもどこかに掲載した方が説得力があるのではないかと。 「7歳の割合が突出して多いとされています。」という記述の場合、根拠を示す必要があるのではないかと。「誰が多いと認識しているのか」を計画での文言では明確にする必要があるはず。	埼玉県、公益財団法人交通事故総合分析センターなどの統計情報を参照して計画素案を作成しました。 総合計画”冊子”への記載の有無や記載方法については、全体バランスを鑑みて検討してまいります。 ※財団法人交通事故総合分析センター・・・国家公安委員会から道路交通法に基づく「交通事故調査分析センター」の指定を受けた機関。
資料2 13ページ	施策実現のための取組み 「交通マナー向上に向けた啓発の推進」	「また、幼児・児童生徒への働きかけに当たって、保護者・教育者に対して「継続的な教育」と「問いかけ」の「きっかけ」と「環境」を提供します。」 この文章では並列が多すぎて誰に何をしたいのか、わからない。 「幼児・児童生徒への働きかけに当たって、」を削除し、「保護者・教育者に	ご提案いただいた文章を参考に、記載方法の見直しを検討します。

第3回会議事前質問シート

		対して、①継続的な教育、②問いかげのきっかけづくり、③問いかげの環境づくりなどを行います」などの修正を加えるのはいかがか。	
--	--	---	--

④施策 1-2-3 市民相談体制の充実

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料 2 14 ページ	現状	現状説明の中で、相談内容の複雑・多様化、及び相談員の確保が難しい状況とあります。現在、若者などはAIへの相談が増えているというニュースを見ますが、相談業務へのAIなどの導入についての考えはありますか。（他の行政を調査）また、導入をした場合には、相談者がどちらかの選択（AI・相談員）ができるようにする。	消費者庁と独立行政法人国民生活センターでは、消費者トラブル FAQ サイトを令和5年4月から開設し、これにAIによる助言を加えて、Webサイトで情報提供することを計画しています。自己解決ができるレベルの消費者トラブルであれば、非常に有用で相談員の負担軽減に役立つ試みであると考えておりますが、詳細がまだ示されていないため、今後も国の動きを注視していきます。

⑤施策 2-1-1 妊娠・出産に対する社会的支援の強化

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料 2 18 ページ	現状	「外国籍」は国籍だけの問題ではないので「海外（又は外国）ルーツの家庭の増加」とし、「景気低迷」を削除、又は「物価高騰」としてはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 11月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。
資料 2 19 ページ	施策実現のための取組み	「こども家庭センター」を記載してはどうか。	総合計画において、施策の実現に取り組む組織名（課名）を明記することにより、計画全体のバランスに影響を及ぼすことが懸念されるため、計画では組織名を明記せず、本文案どおりの表現とさせていただきます。

⑥施策 2-1-2 子育てと仕事の両立支援

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料 2 20 ページ	現状	女性の問題と誤解される恐れがあるので、「女性の就業率の上昇」ではなく、「共働き家庭・ひとり親家庭の増加」としてはどうか。	いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 11月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。
資料 2 21 ページ	施策実現のための取組み 「地域における子育て支援」	「相互援助活動等」だけではわかりにくいので、「ファミリー・サポート・センター」の文言を追加してはどうか。	

第3回会議事前質問シート

⑦施策 2-1-3 こどもや子育て家庭への支援⑥施策 2-1-2 子育てと仕事の両立支援

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 22 ページ	現状・課題	「相対的貧困の格差」ではなく「家庭の経済状況の格差」、「貧困による負の連鎖とならないよう」には説明を入れて「親から子への貧困の連鎖を断ち切るために」とした方が良いのではないかな。	<p>いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。</p> <p>11月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。</p>
資料2 23 ページ	施策実現のための取組み	<p>項目として、「子育て支援」「子育ての経済支援」が同時に存在することになると、わかりづらい。</p> <p>項目としては「子育て支援」→「子育て支援拠点の整備」「子育て支援拠点での支援充実」ということなのではないかな。</p>	

⑧施策 2-2-1 質の高い教育及び環境の充実

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 24、25 ページ	施策実現のための取組み	「こどもの自己肯定感を育む取組み」、「給食費未納者への対策」の内容としては、どのようなことを考えているのか。給食費未納者は何%か。就学援助等の対象者か。水道料金・市税等の滞納がないか把握しているか。三郷市の就学援助率は何%か。	<p>こどもたちの自己肯定感を育むための取り組みは、日々の授業や学級づくり、人間関係づくりの中で、互いの良さを認め合い、安心して自分を表現できる雰囲気づくりを大切にするなど、学校生活のあらゆる場面で意識的に行われています。例えば、道徳の授業を通して自己理解や他者理解を深める機会を設けたり、様々な体験的な学習を通じて、自分の存在が誰かの役に立っているという実感を得たりすることができます。</p> <p>全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の児童生徒への質問紙において、「自分には良いところがあると思いますか?」「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか?」といった関連する項目もあることから、学校は一人一人の自己肯定感の実感にも目を向けて取り組んでおります。</p> <p>こうした日々の積み重ねにより、こどもたち一人一人の自信や自尊感情を育むと同時に、「小中学校夢応援プロジェクト事業」を中心とした「夢への挑戦」を推進し、自己肯定感の向上へとつなげて参ります。</p> <p>給食費未納者への対応については、督促通知の発送や電話督促等の実施をしております。また、給食費の未納率について、令和2年度から令和6年度分で収入率99.66%となっております。就学援助対象者の給食費の未納については、就学援助費から充当する形を取っているところですが、数としては各校に数名いるかないか程度でございます。給食費未納者や就学援助対象者について、水道料金や市税等の滞納状況は把握しておりません。なお、本市の就学援助率は、令和6年度で8.94%です。</p>

第3回会議事前質問シート

⑨施策 2-2-2 青少年健全育成の推進

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 26 ページ	現状・課題	<p>「三郷市では、コロナ禍による青少年団体の活動休止等により、青少年の地域活動や交流は減少傾向となっています。」</p> <p>コロナ禍を終えた現在、コロナ禍での活動減少に対する危機感を乗り越え、全国的にはむしろ青少年の地域活動は増加しています。コロナ禍での改善策の実施が功を奏していると思われます。</p> <p>例えば、「2022 年度報告 横浜市青少年育成センター」では、数値的に利用団体数、利用人数、相談件数はコロナ禍前を超えた数値を示しています。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/ikusei/shisetsu/ikusei.files/0013_20231003.pdf</p> <p>また市内で言えば、ボーイスカウト三郷 1 団は現在コロナ禍を乗り越えて参加者が増えていますし、その分活動回数も増えています。こども政策課の事業の一環として「プレーパークみさと」が行われるなど、におどり公園で行われるイベント等を見ても、青少年向けの活動は増加の一途です。</p> <p>「一時期減少した」ことは理解できますが、すでに乗り越えていると言って良い状況です。</p> <p>三郷市青少年課の捉える「青少年団体」が次のページで表示されているものだけであるならば現在の記述は理解できます。しかし、それでは「三郷市のこども全体」ではなく、青少年課担当部分だけということになり、市行政の一体的な事業展開や総合計画としての考え方から乖離してしまいます。 https://www.city.misato.lg.jp/kosodate_kyoiku/kenzenikusei_seishonen/seishonendantai/index.html</p> <p>現状の課題としての記述は、対象となる範囲がごく一部のものになってしまっているため、「三郷市では」ではなく「三郷市の行政が主催する事業では」などに変更を求めます。</p> <p>または、課題として詳細な分析を行う必要を感じますので、前期と異なる部分を後期では記述すべきです。</p>	<p>委員からのご指摘につきましては、コロナ禍を受けた現状を示させていただきました。先の質問での定義をお示ししました団体につきましても活動を再開しており、特に青少年相談員においては、小学生を対象にした事業を展開しているところでございます。委員からのご指摘につきましては、11月開催の第6回まちづくり委員会までに検討を進めてまいります。</p>

第3回会議事前質問シート

⑩施策 3-2-3 公共下水道の整備

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料2 38ページ	課題	<p>「上下水道一体で下水道施設の耐震化を行う」 公共下水道に関する項目の中で、「上下水道一体で」を付ける意味とその理由がわからない。</p> <p>「3-2-3 公共下水道の整備」の課題であることから、「上下水道一体で」何をどう行うのかの詳細を記述するか、「上下水道一体で」を削除するか、「上下水道一体で耐震化を行う」のどれかを選ぶ必要がある。</p> <p>ちなみに、次ページの取り組みではそのような記述になっている。</p>	<p>令和6年1月に発生した能登半島地震では、上水道と下水道施設の耐震化が未実施であった基幹施設等で被害が生じたことにより、復旧を長期化を生じさせた教訓から、国の要請を受け令和7年1月に水道と下水道が一体となって取り組む「上下水道耐震化計画」を策定しております。</p> <p>ご提言を頂きましたとおり、上下水道施設が一体となって耐震化を行う目的や内容が分かりづらいため、今後、記載内容について検討し、第6回会議において修正案をお諮りしたいと考えております。</p>

1 協議事項（2）数値目標の見直しの方向性【まちづくり方針1～3】について

(1)【資料3】数値目標の見直しの方向性に関すること

資料番号 ページ番号	項目	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
資料3別紙 38ページ	●継続する方向で検討中 (目標値のみ見直し) No.19 「普及率」	「普及率」がなんの普及率か書くべき。	<p>第3回まちづくり委員会の資料3別紙「●継続する方向で検討中（目標値のみ見直し）」の項目における「普及率」とは、公共下水道の普及率のことです。資料がわかりづらく申し訳ございません。</p> <p>第4回会議及び第5回会議においても、まちづくり方針4～経営方針3をお諮りする際に同様の資料を配付予定でございますので、委員ご指摘を踏まえて資料作成を行ってまいります。</p>